



2022.6.12

## Salone del Mobile.Milano 2022

### 第 60 回ミラノサローネ国際家具見本市 閉幕リリース

ライブイベントとして復活したミラノサローネ

期待以上の来場者数を記録

品質、コミットメント、結束力、そして再出発への強い意志によって成功を収める

第 60 回ミラノサローネ国際家具見本市（以下、ミラノサローネ）は、予想をはるかに上回る 262,000 人以上の来場者を記録し、ミラノ市とシステム全体の国際的な再スタートを切ることができ、このイベントの触媒的な力を確認することができました。

セルジョ・マッタレラ イタリア共和国大統領のメッセージと共に開幕したイタリアの歴史が誇るミラノサローネは、非常にポジティブな結果で幕を閉じ、このイベントの魅力と世界への大きな影響力を誰もが再確認することができました。

出展企業 1575 社（内 27%国外）と 600 人のサローネサテリテ参加デザイナーを合わせた 2175 の展示は、6 日間で 173 カ国から 262,608 人の来場者を記録しました。トレードオペレーターやバイヤーの 61%が国外から来場、2019 年には 42,000 人以上を占めていた中国とロシアの来場者はほぼ不在の中、世界各国から 3,500 人以上のジャーナリストの来場も記録しました。

#### ミラノサローネ代表、マリア・ポッロ氏のコメント：

「第 60 回ミラノサローネは予想をはるかに超え、大きな満足と深い感動をもって幕を閉じました。来場者数は、私たちが努力して達成した素晴らしい結果です。今回の開催で、この見本市の国際的な広がりやデザイン界の結束を確認することができました。この結果は、ミラノサローネの健全性と価値を示すものであり、国際的なレベルで最も複雑な局面においても、セクター全体とその創造的・生産的な組織のチームとして働く能力が、いかに優れた結果を生み出すことができるかを証明するものです。私たちは品質に投資し、イノベーションを生み出し続け、企業や製品の『ストーリーを伝える』ことへの意欲を示しました。常に密接な関係にあるミラノの街を、再び活性化させるエンジンになったのです。また、デジタルの役割は極めて重要で、この 1 週間で新しい国々と接触し、これまで接触できなかった国々と強い関係を維持することができました。このイベントに関わった企業、主催者、フィッター、デザイナーなど、一緒になってイベントを信じてくれたすべての人に感謝します。今回のサローネサテリテが、この業界とミラノに新たなエネルギーを与え、グローバルで意識的な体験を提供しようとする熱意と意欲を感じ取っていただけたと信じています」



前回の開催から3年と2ヶ月、再び、高品質な家具が世界レベルで最も重要な見本市であるミラノサローネに帰り、この見本市がいかに才能ある人々、創造性、プロジェクトを魅了し、ビジネスチャンスを生み出すアイデアを交換し、共有する特別な場所であるかを実証した回となりました。

今年は、展示会の組織・運営レベル、研究・価値提案レベル、そして『Design with Nature』、サローネサテリテ、多くの出展者が提示する具体的かつ既に実行可能なソリューションのレベルにおいて、持続可能な要素に焦点を当て、国連の持続可能な開発目標に沿った環境保護、家庭、資源の効率的な利用に貢献できるビジネスアイデアや技術的ソリューションの国際舞台となりました。

### イタリア家具工業連盟クラウディオ・フェルトリン会長のコメント：

「前回のミラノサローネ閉幕から3年2カ月ぶりに、来場者や関係者の皆様と再会し、大きな熱気を体感することができました。また、私たちのノウハウの優秀さを示すショーケースに再び参加したいという強い希望がありました。このショーケースでは、審美眼を持った来場者が真の主役であり、期待以上の1週間に満足した起業家たち自身がそれを証明しています。多くの受注、新市場の開拓、伝統的な市場の統合：イベントが無視できない勝利の方程式であることが確認された。7万社、29万4千人の従業員を抱え、約500億ユーロの売上高を誇るサプライチェーンを代表し、講演を行いました。『スマートホーム、素材の刷新、伝統と革新の融合、そして競争力としての持続可能性など、この困難な時代に企業がいかに楽観的に将来を見据えた投資を続けてきたかを如実に示しています。国際情勢が不透明なため、特にこの秋に向けて慎重にならざるを得ないものの、連盟の調査が示すように、市場のトレンドは依然として極めてダイナミックで健全です。懸念されるのは、エネルギーコスト、回復のアキレス腱となりつつある原材料の調達難、購買力の低下で、まだ活況を呈している市場の需要を鈍らせる可能性があることです。木工家具部門は、パンデミックによって加速された社会の変化に対応し、人々が家の価値を再発見し、より快適でモダンかつ健康的な生活を送ることができるよう、高品質で耐久性に優れた製品を提供しています。これは一過性のもではなく、構造的な変革なのです。そして、その結果は、グリーン経済のリーダーになることを熱望し、生活の未来をも再設計するメイド・イン・イタリーを世界に示す、私たちの企業の努力に報われました」

国際的なコミュニティを巻き込み、情報を提供することを目的に、ミラノサローネのデジタルは、ウェブサイト、ニュースレター、アプリ、プッシュ、ソーシャルネットワーク（Instagram、Facebook、LinkedIn、Twitter、Pinterest、Youtube）といったプラットフォームで展開されました。ソーシャルサイトでは1350万のリーチを記録、公式ハッシュタグ（#salonedelmobile2022、#salonedelmobile60th）を使った5万以上のコンテンツ、60万のビデオ視聴、12万のコンテンツへのインタラクション、2500万のインプレッションを達成しました。先週だけで、480万ページビューを記録し、1日平均10万人のユーザー（69.2%がイタリア、30.8%が国外）が利用し、プラットフォームに登録する新規ユーザー数は42%増加しました。9月の公開以来、ダウンロード数が倍増したSalone del Mobile.Milanoアプリは、ロー・フィエラミラノを訪れる企業と業界関係者を直接結びつけることを目的としたマッチングサービスで、平均4万回のスキャンが行われました。最後に、開催期間中に毎日生



放送されたポッドキャスト「Design Voices - Salone del Mobile」は、Amazon Music のアート部門で 3 位にランクインし、今後数週間のうちに第 2 シーズンの詳細が予定されているとのことです。

また、ミラノサローネが国の経済エンジンとして重要であることを、多くの**政府機関関係者**が認識しています。**シメスト社**や**ICE エージェンシー**を通じた外務省の具体的な支援は、このイベントの国際的な価値を確認するものであり、**ロンバルディア州**の支援は、我々のサプライチェーンにとってこの地域が中心であることを確認するものです。また、このイベントの実現に貢献した**フィエラミラノ**との緊密な連携も重要です。

デザイン・ウィズ・ネイチャーは、一般来場者にも大好評でしたが、来場した多くのデザイナー、建築家、ジャーナリストからも、近い将来、新しい世代の素材とデザインにおいて、知識、スキル、技術をいかに結びつけるかが明確かつダイレクトに語られていると絶賛されました。

Design with Nature は、一般来場者にも大好評でしたが、来場した多くのデザイナー、建築家、ジャーナリストからも、近い将来、新しい世代の素材とデザインにおいて、知識、スキル、技術をいかに結びつけるかが明確かつダイレクトに語られていると絶賛されました。

建築家やイノベーターなど、著名な声による公開プログラムも同様に好評で、**講演プログラム**は連日満席でした。これは、デザインの基本テーマとその社会的・環境的価値について再び出会い、議論したいという気持ちが、これまで以上に強くなっている証と言えるでしょう。また、イタリアが誇るレストランやシェフの監修によるグルメコーナー「**イデンティタ・ゴローゼ・フードコート**」にも長い行列ができました。

また、王宮では、ミラノサローネ特別展、「**マジック・ボックス**」が上演され、ミラノのイベントの品質、革新性、創造性、そして何よりも美しさを物語る、多感で感動的な体験ができるものとなりました。**(6月17日まで王宮で開催中)**

ミラノサローネとミラノ市が持つ国際的な役割、包容力とホスピタリティを強調するために、ミラノ市、フィエラ財団、ミラノの主要デザイン学校（Nuova Accademia, IED Istituto Europeo di Design, Scuola del Design/Politecnico di Milano）とのコラボレーションによる「**ウェルカムプロジェクト**」が開催されました。市内の主要なスポットに設置されたスタンドで 100 名の若者たちが、世界中から集まった多くの来場者に、市内の移動手段、見本市、ミラノで開催される主なイベントに関する情報を提供し、来場者の多くが電車や地下鉄など、環境に配慮した交通手段を利用していたことが調査されました。

次回のミラノサローネは **2023 年 4 月 18 日から 23 日まで開催予定です。**

プレスお問い合わせ先: 山本幸 [yuki@milanosalone.com](mailto:yuki@milanosalone.com)

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti [press@salonemilano.it](mailto:press@salonemilano.it)